

「呼吸器感染症に関する医療従事者の従事業務と抗体獲得 の関連性評価」に対するご協力のお願い

研究責任者 西村 知泰
研究機関名 慶應義塾大学医学部
(所属) 保健管理センター

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

「慶應義塾大学における新型コロナウイルスの感染状況調査(慶應義塾大学医学部倫理委員会承認番号 20200042)」にご参加されている方

2 研究課題名

承認番号 20241058

研究課題名 呼吸器感染症に関する医療従事者の従事業務と抗体獲得の関連性評価

3 研究組織

研究機関

慶應義塾大学医学部・病院

研究責任者

准教授 西村 知泰

4 本研究の目的、方法

肺や咽頭などの呼吸器の感染症は、感染源となる病原体が呼気や気道分泌物に含まれることにより、ヒトからヒトへの感染が最も生じやすいとされています。医療従事者は特にその業務において、患者さんから呼吸器感染症の原因となる病原体の飛沫などを浴びやすく、業務に関連しておこる感染（職業関連感染）のリスクがあります。しかし、病原体によっては、免疫が正常な医療従事者では、明確に症状が出ない感染（不顕性感染）を起こしていることも多いため、どのような業務をし

ている医療従事者がどの程度、病原体に感染しているかはあまりはっきりしていません。

たとえば、医師や看護師などの職種や内科や外科、小児科などの診療科の違いにより、不顕性感染も含む呼吸器感染症の感染リスクの違いがあることが明らかになれば、呼吸器感染症の職業関連感染対策の必要性やこういった対象にどのような方法で対策すれば意義があるのかを検討する重要なデータとなりえます。しかし、結核については、こういった医療従事者の職業関連感染をするのか、多くの研究が存在し、それにもとづき院内感染対策が実施されていますが、結核以外の呼吸器感染症についてはそのようなデータはほとんど存在しないのが現状です。

そこで、本研究ではさまざまな呼吸器感染症の医療従事者における抗体の保有率を調査して、職種や診療科間の差異を比較することで、どのような医療現場・医療行為において、呼吸器感染症の職業関連感染が生じているのかを明らかにすることを目的としています。

本研究は「慶應義塾大学における新型コロナウイルスの感染状況調査(慶應義塾大学医学部倫理委員会承認番号 20200042)」にご参加いただいた慶應義塾大学信濃町キャンパスの教職員の方から文書による同意取得後にご提供いただいたサンプル・データを二次的に解析します。具体的には、研究にご協力いただいた方からご提供いただき、すでに個人情報が変わらなくなるような加工を済ませた血清およびアンケートの回答情報および健診データ・保健管理センター受診データ情報を、個人情報とそれぞれのデータやサンプルを紐づける情報を参照せずに使用します。

その上で、血清の中のさまざまな呼吸器感染症に対する抗体価の測定を行い、呼吸器感染症に対する抗体保有の有無と、実際ご担当されている業務や職種の関連性を評価することで、職種やどのような業務をされているかにより抗体保有率がどの程度違うのかを評価します。

5 協力をお願いする内容

「慶應義塾大学における新型コロナウイルスの感染状況調査(慶應義塾大学医学部倫理委員会承認番号 20200042)」で得られた、血清およびアンケートの回答情報および健診データ・保健管理センター受診データ情報を本研究に使用させていただくこと。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2028 年 5 月 31 日

7 外部への試料・情報の提供

該当しません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、試料・情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学医学部臨床検査医学教室 専任講師
上 蓑 義典

03-5363-3688
(平日 9:00-17:00)

以上